

大学の世界展開力強化事業 取組概要 神戸大学

【構想の名称】(選定年度23年度(タイプA-I CAMPUS Asia Pilot Program))

東アジアにおけるリスク・マネジメント専門家養成プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】 神戸大学、復旦大学及び高麗大学校がコンソーシアムを構成し、三大学が有する世界レベルの大学院教育を通して「東アジアにおけるリスク・マネジメント専門家」を養成することを目的とする。

＜グローバル人材像＞①自然災害時のみならず経済危機、社会情勢危機時におけるリスク・マネジメントに関わる応用性のある専門的な知識とスキル、②三か国が拠点となり日本・中国・韓国に関する経済・政治・人的資源・開発運営を含む社会科学全般の専門性、③自国語に加えて英語と現地語による政策・実施支援ができるレベルのコミュニケーションスキルを習得し、④異文化を理解した上で、公共機関や国際機関、NPOにおいて世界の危機時における問題の分析、政策策定を主導し、さらに災害の現場でチームの一員としてチャレンジ精神をもってグローバルに活躍できる人材。

【構想の概要】 本プログラムでは、神戸大学大学院国際協力研究科(GSICS)、復旦大学国際関係・公共事務学院(SIRPA)及び高麗大学校国際大学院(GSIS)が協働し、修士課程の学生の交換留学ならびにダブルディグリープログラムを通じて、将来の東アジア地域のみならず、世界レベルで活躍するリスク・マネジメント専門家の養成に向けた質の高い教育を展開する。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ 三大学の教職員で形成されるコンソーシアム運営委員会の設置・定期会合の開催

○ 単位の相互認定や成績管理、単位授与に至るプロセスについての協議

コンソーシアム運営委員会を開催、三大学間での単位算定方式について協議し、原則合意した。これにより、神戸-高麗、神戸-復旦での1年間でのダブル・ディグリー取得に向けた基盤が整った。また、参加三大学の今後の行動方針や学生のみならず教員を含む学術交流の基盤が整備された。

学生交流協定・ダブルディグリー協定が高麗大学校国際大学院(GSIS)、復旦大学国際関係・公共事務学院(SIRPA)との間で既に締結されており、具体的な細則も整備された。



■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況



○ 国際シンポジウムの開催： 日中韓三大学共同国際シンポジウム(平成24年11月9日)を上海にて開催した。三か国から60名以上の教職員や大学院生が参加し、リスク管理をめぐる日中韓三大学の緊密な協力関係の必要性が確認された。

○ コンソーシアム以外の大学との調査・交流の実施： 中国:北京大学、韓国:ソウル大学校・弘益大学校・中央大学校、マレーシア:マラヤ大学、等について調査・交流を実施することにより、同プログラムに関連する他大学の動向の調査を進めるとともに、リスク・マネジメント専門家の招聘など、幅広い交流を行った。

○ リスクマネジメントセミナーの開催： 国内外のリスクマネジメント専門家を招聘し、平成24年度においてはセミナーを合計6回開催して、同分野における専門家ネットワークの構築、および学際的な観点からの研究や実践成果の共有を促進した。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

神戸大学から復旦大学にダブルディグリー生2名、交換留学生1名(1年間)、高麗大学校にダブルディグリー生2名、交換留学生1名(半年)を派遣した。

○ 外国人留学生の受け入れ

平成24年9月には復旦大学からダブルディグリー生3名、高麗大学校からダブルディグリー生1名、交換留学生1名(半年)、平成25年3月には高麗大学校から交換留学生3名(半年)の大学院生の受け入れを行った。

	H23	H24	H25	H26	H27
日本(J)での受入	0	C3, K5	C8, K8	C8, K8	C8, K8
中国(C)での受入	0	J3, K3	J8, K8	J8, K8	J8, K8
韓国(K)での受入	J1	J3, C3	J8, C8	J8, C8	J8, C8

注)H23・H24は実績、H25以降は計画。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ 「キャンパスアジア室」の開設： 留学を希望する本学学生への対応と、復旦大学・高麗大学校からの留学生に対するケアを目的として、中・韓・米の各国での教育研究経験を有する専属スタッフが常駐する「キャンパスアジア室」を開設し、学術、生活の両面からのサポートを行っている。

○ 事前教育カリキュラムの整備： 受入・派遣留学生のため、語学研修、研究計画作成支援等の事前教育プログラムを実施している。

○ リスクマネジメント関連講義の開設、サーティフィケートの発行： リスクマネジメント関連講義として、Risk Management, Disaster Risk Reduction Strategy for Mega Earthquakesを開設し、教育プログラム内容の充実を図っている。また、プログラム修了の証明として、サーティフィケートを発行し、三大学で今後同じフォーマットを共有していく。

■ 教育内容の可視化・成果の普及

○ パンフレット作成・ホームページの開設(<http://www.edu.kobe-u.ac.jp/gsics-cp-asia/index.html>)： パンフレットおよびニュースレターを作成するとともに、今後の成果を普及させるための基盤として、日英両言語版のホームページを開設した。

○ 第二回評価委員会を開催： 外部評価委員会ならびに国際シンポジウムを開催し、評価委員や高等教育専門家から大学の国際化に向けたアジア・欧米での実践について知見の共有を図った。また、神戸大学でのプログラム実施状況に対する評価委員からのフィードバックを通じて、本事業の今後の運営に向けて検討を要する事項が示された。